

みぶ町政だより



8

月号

昭和52年 8 月24日発行

発行所 栃木県壬生町役場（毎月24日発行）

昭和34年 9 月30日第三種郵便物認可 一部 9 円



▲この写真をさしあげます
希望される方は、企画課（②1234内線50）へ
ご連絡ください。

恒例の盆踊り

恒例の盆踊り大会は、15日が雨で中止になりましたので8月14日と16日の2日間行なわれました。

今では壬生町の名物の一つとなった盆踊りもあいにくの雨模様で踊りが中断するなどのハプニングがありましたが、それでも旧盆で帰省した人たちが混じって、子どもからおとしよりまでが踊りの輪に加わり、夏の夜のひとときを満喫していました。

今月の人口

8月1日現在 対前月比
総人口 32,364 62人増
男 16,025 44人増
女 16,339 18人増
世帯数 8,395 19世帯増

9月は“敬老の日”です（老人をいたわりましょう）



老人クラブの盆栽講習会

— これもコミュニティの一つ —



側溝の清掃奉仕活動

望ましいコミュニティのあり方

先に述べたように理想の地域社会は、住民の日常生活が安全かつ快適なことです。そのためには、生活環境の整備と合わせ、地域的な連帯感の育成が必要となるわけです。

★具体的なコミュニティ活動としては、次のようなものがあります。

- 文化・体育・レクリエーション活動
- 祭り・旅行・運動会等の行事を実施する活動
- 生活環境の整備等地域の生活環境をより良くするための活動
- コミュニティ・ケアの参加
- 町行政への地域住民の参加活動

職員募集

役場では、昭和五十二年度に採用する職員を次のように募集します。

- ◇職種および採用人員等
 - ①一般事務 数名
 - 昭和五十二年三月高専以上卒業見込みの者で昭和二十九年四月二日以後に生まれた者
 - ②保母 若干名
 - 有資格者または昭和五十二年三月資格取得見込みの者
 - ③学校公仕 二名
 - 年令満四十五才（昭和八年四月二日以後生まれ）までの男子
 - ④学校給食婦 二名
 - 年令満四十五才（昭和十三年四月二日以後生まれ）までの女子
 - ⑤じん芥収集職員 二名
 - 年令満四十五才（昭和八年四月二日以後生まれ）までの男子
 - ⑥じん芥収集運転手 一名
 - 年令満四十五才（昭和十三年四月二日以後生まれ）までの男子
 - ⑦⑧のいずれも町内居住者に限る。
- ◇手続き
 - 申込用紙請求先および提出先
 - 申込受付期間 壬生町役場総務課
 - 昭和五十二年八月二十日頃まで
 - 昭和五十二年九月二十日頃まで
 - 採用試験 十月上旬の予定
 - ①については、筆記試験および口述試験、その他面接試験を行なう。

コミュニティと行政

現在の生活の場にコミュニティが欠けていることは、前に述べましたが、これに対応して町・県・国の行政側にもその機構において同様のことがいえると思われ、最近、行政相談窓口等、各種の住民の意向を反映する機構もよえているものの、さらに、広域的行政をふまえて積極的に取り組まなければなりません。

しかし、コミュニティ計画をどうする必要があるのか、これは、地域のみなさんで、町・県・国は、それを面から援助し、活動しやすい環境づくりなどを行う協賛です。

コミュニティづくりの目標は、地域のみなさんが地域社会を見直し、住民相互が手を取り合い、地域社会の向上をめざしていくことです。公共事業は、県や町がやるもので、一般住民のやることではないという風潮を捨て、積極的な行動が必要となります。



料理講習会風景

コミュニティで

明るい町づくり



町民体育祭

コミュニティとは

一般的に「地域社会」「共同体」などといわれていますが、わかりやすくいいますと地域の人たちが話し合い、助けあって、より良い環境、より豊かな生活を求めている努力しあえるまちを作っていくことです。

コミュニティの原点といわれる昔からの祭りは、料理教室、体育祭、道路・河川の清掃奉仕、これら各人が共同して行う活動が私たちのつきあいの中で、大切な潤滑油となっているのです。このため町では、地元のみならずの話し合いをもとに「安全」「健康」「余暇利用」「生活改善」「連帯意識の高揚」など、身近な問題から取りくもうとしています。

※ 今日、まちにまつた町民体育祭です。町の運動場には、朝早くからお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんそして子供達が大きなお弁当をもって集まっています。緑と太陽の中に、町中のよき仲間が集り幸せがいっぱいです。どの顔も笑顔があふれ、町中の人がコミュニティの輪の中にいます。

※ ※ ※ ※ ※

楽しい夏祭り



コミュニティの必要性

経済社会の進展に伴い、世の中全体が複雑で生活しにくくなったと感じる人は、少なくないと思います。地域を住みよい所にするための心のつながりは薄らぎ、人間関係にも関係がなくなってきたと思われ、これららのことを十分理解し、今後、地域住民のために、地域住民のための、住みよい地域づくりに努力しなければならぬと考えられます。それには、住民が自主的に活動に参加し、地域全体のつながりを深め、豊かで生きがいのある地域社会をつくる必要があるわけです。

地域ぐるみで 交通安全

死亡事故が全国ワースト3

人口十万人当たり五・五九名の
全国ワースト三これは、本県の
交通事故による死者数が、全国で
三番目に高いことを示している有
難くない数字です。(八月十九日
現在)

人命尊重、人間優先の安全な住
みよい生活環境を確保するため、
県、市町村とみで各種施策を展
開していますが、交通事故による
死者は後を絶たず、県内の交通事
情は最悪の事態をむかえています。
毎年、交通事故の多くなる夏期に
この異常事態がこのまま続く、
過去五年間減少しつづけてきた交
通死亡者が、今年は増加したま
ま推移するといことも憂慮されま
す。

これらの事故原因をみてみます
と、交通違反の低下に起因するもの
が多数占めているところから
見知事、県議会議員、県警本部
長、県教長の四者連発で「交通
死亡事故が多発異常事態を宣言し
県民に強いアピールして注意を喚
起するとともに、関係機関・団体
が全力をあげて死亡事故防止のた
めの運動を展開してまいります。
壬生町でも、これを受けて、交
通死亡事故多発異常事態を宣言。
し、運動に参加してまいります。
また、夏休み中の子どもの交通
事故防止を中心に海、山の行楽
などの交通安全確保、暑さのための過
労運転による交通事故を防止す
ため、夏の交通安全運動が去る七

交通安全に一役 交通安全母の会

交通安全に関するいろいろな問
題を理解し、そして子供たちに正
しい交通ルールを教える、交通安全
の防止に努めるため壬生町交通安
全母の会が組織されています。
この会は、町内に在住している
二婦人の集りです。交通安全運動に
進んで協力されている団体です。
交通安全教育は、家庭内でも大

免許更新講習

九月の日程は、次のとおりです
●九日(金) 中央公民館講堂
●二十九日(木) 徳島医科大学
時間は、いずれも午前十時から

下水道町の顔です 心です

第十七回全国下水道促進デー

「下水道促進デー」は、家庭の
下水、工場排水、雨水とを排
下水、科学的に処理して、水
質公害のない快適な都市、生活環
境を約束する下水道について、国
地方公共団体、地域の人たちが一
体となつて考え、その画期的な整
備・促進を図ろうとする、市民運
動の日です。

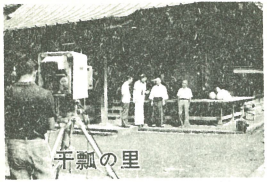
この「全国下水道促進デー」は
毎年九月十日、建設省と厚生省が
主催し、県、市町村が主体的に行
なう全国的な行事です。今年は十七
回目です。

ガス湯沸器配管技能者の講習会開く

受験申込は九月十六日まで

ガス湯沸器取付公認事店の公
認期間が八月末日で満了になりま
すので、町では、これを機会に新
たに配管技能者の資格を取得しま
ない方を対象に講習会を開催しま
す。

受講希望者は、九月十六日まで
に町役場水課へ申込んでくださ
い。講習会の日時、場所とは直
接申込者に通知します。
新しく公認工事店に
なるには……



千帆の里
NHKで中継録画

「淋しくも また夕顔の さかり
かな。で始まった8月14日放映の
「関東とところどころ」(NHK)の
録画撮りが栃木県千帆商業(協)、壬
生町千帆間屋組合(島田計二組合長
藤井睦会、寺内秀義さんなどの協力
で、8月4日、5日の両日行なわれ
ました。

栃木名産の「カンピョウ」の発祥
地である壬生町の人びとと千帆と
のかかわりを各方向からとらえたもの



聴会のみなさん

秋の交通安全運動

九月二十一日から

九月二十一日から三十日まで
の十日間にわたる「秋の交通安全運
動」が実施されます。
この運動は、すべての人に交通
安全思想を普及し、正しい交通ル
ールに備えて

消防点検行なう

八月一日午前八時から陸小學校
校庭で、非常時に備えて夏季点検
が行われました。

この日は、朝から暑い日射しの
中を壬生町消防団、栃本茂樹長
の団員二百余名が参加し、佐
藤消防長から服装、機材器具によ
うな指導を受けました。

新鋭消防車を 一台配置

町では、消防設備の整備充実の
ため消防車BD-1型(型番BD-1)
二台を購入し、一分団(四郎、藤井)
と一分団(安塚)に配置しました



町名由来の考察 (完)

筆者 鈴木 茂 彰

終わりに「甲」「乙」「丙」に
ついて考えてみました。
つまり、大壬生甲とか、大壬
生乙×××番地と云うように、
大壬生と番地の間に、必ず割り
込んであるやうな地名の……
甲、乙、丙のことです。

甲は兎も角「乙」の場合、筆記
字と算用数字の「2」にも、漢
数字の「二」にも似てしまったり
或いは、乙番地の中に、点と甲
番地が交ったやうな形になって、誰も
が苦い経験をもっているものと思
います。

いままで説いてきた通り、壬生
は上の原・黒川原の昔から、表町
通町の近代、そして明治になって
も、壬生表町と壬生通町は別々の
町で、どちらにも町長(明治初年
までは、名主)の一人、戸長と云
う)が居た訳で、明治になって近
隣の町と何回か果敢に合併した
のち、明治十八年に両町と藤行村
が合併して、はじめて壬生町とな
ったのです。

明治十五年に土地の登記制が確立
された時、それと同時、
その時、通町の住民の所有地が
甲、表町の住民の所有地が
乙、壬生新田が丙、決ま
られたものと思います。

この記事は、今後住居表示の実
施を予定している、旧壬生市街地
の「居表示」の参考資料として企
画したもので、今更をもつて終り
ます。

なお、掲載記事について、一
意向をとりません。直接投稿企
画課へご連絡ください。

◎電話 〇三三四四二五〇・五一

水泳が四連勝、通算二十八勝飾る

郡民体育祭ふるわず総合六位



総合順位
○優勝……大平町
○準優勝……国分寺町
○第三位……石橋町

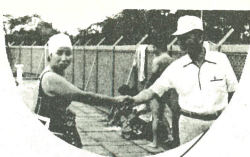
づくり

本大会の成績
・陸上……四位
・卓球……一回戦で敗れる
・バレー……男女共、一回戦で敗れる
・柔道……一回戦で敗れる
・弓道……一回戦で敗れる
・相撲……棄権



柏崎さんがんばる

郡民体育祭の水泳五十メートル女子平泳の部で、下横町の柏崎トヨ子さん(52歳)が、水泳王生の伝統のためがんばりました。
柏崎さんは、子供の頃水泳を得意としていましたが、その後主婦業と家業で暫く水泳から遠ざかっており、このたび三十数年ぶりに大会にのぞいたもの。
この種目最年長の柏崎さんは、ス



タート白に立つなりVサインをふるなど、余韻たっぷり泳ぎ観客や大会役員、選手から喝采を浴び、応援の佐藤町長とニコリ握手

夏季大会の成績

・水泳……優勝
・婦人バレー……準優勝
・野球……二位
・バドミントン……二位
・サッカ……三位
・バスケット(女子)……三位
(男子)……一回戦で都賀町に敗れる
・ソフトボール……一回戦で国分寺町に敗れる
・剣道……一回戦で岩井町に敗れる
・テニス……一回戦で野木町に敗れる

夏……スポーツで体力

睦小チームが優勝

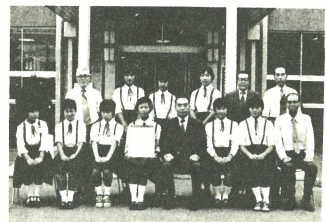
児童少年野球の壬生地区予選は、七月二十八・二十九日の両日、町営グラウンドで管内八校チームが参加し、真夏の太陽のもと熱戦がくりひろげられました。
その結果、優勝は睦小チーム、準優勝は東小チーム、三位は藤井小・羽生田小の両チームで、以上四チームは県大会に出場し健闘しました。

優勝した睦小チーム



南犬飼中が全国第三位

全国中学生ハンドボール大会



全国第3位の南犬飼チーム



優勝した南犬飼中ナイン

八月十九日、茨城県(会場)神田(高)で行なわれた全国中学生ハンドボール大会で、栃木県代表南犬飼中学総体野球が、県中学総体野球として出場した南犬飼中学校チーム(全名)は、準決勝で熊本県代表の鶴崎チームと対戦し、11対5で惜しくも敗れ第三位にとどまり決勝進出は果せませんでしたが、中学史上いけききした試合はこびで好感をもたれました。

南犬飼中が優勝

第三十回県中総体軟式野球の部で南犬飼中学校が九年ぶり一度目の優勝を飾りました。
この大会は、県内全中学校が参加し八月二日から五日の四日間、県総合運動公園などで開かれたもので、南犬飼中は戦の結果決勝戦に進み、鹿沼西中と対戦、対○でみごと優勝した。

生野球大会の出場権を得て活躍が期待されましたが、長雨により大会が中止となりました。

農協チームが優勝

——戦域野球大会で——

第二十一回町内戦域野球大会は七月三日、十日、二十四日の三日にわたり、町営グラウンド、玩具団地グラウンドの二会場において、二十一人チームが参加して、熱戦をくりひろげました。
その結果、決勝戦で農協チームと独協チームの対戦となり、熱戦の末、農協が優勝の栄冠を勝ち得ました。

白球を追うチビッ子たち

少年少女球技大会

壬生小学校PTA(高田正五郎会長)では夏休み中の8月2日3日の2日間にわたって少年少女球技大会を開きました。

参加チームは、野球が21チーム、ソフトが20チームで、それぞれ町内対抗の方法で熱戦が展開され、応援の父兄と子供達が2人3脚でがんばりました。

試合の結果は、次のとおりです。
○野球 優勝=城内、準優勝=仲通町 第3位=下横町と東下台
○ソフトボール 優勝=仲通町 準優勝=城内、第3位=栄町と下横町



ストライク…ソフトボールの一コマ

老齡年金の繰上げ支給は

老齢年金は、六十五歳から支給することになっていますが、希望により六十歳から繰上げて支給されます。この場合、次の表のとおり減額支給になりますから、よく考えてから請求するといいでしう。

で手続きをとってください。

なお、年金を受けるときは、郵便局が銀行の窓口になりますので、銀行振込みを希望される方は、通帳（口座番号が必要）を持参してください。

改善されました。

障害年金の廃止認定日から 八月一日から一年六ヵ月に短縮されました。(今までは三年目)

医師や歯科医師の診療を最初に受けてから八月一日で、すでに一年六ヵ月たっている人は、障害年

... ..

家出人やはくえ不明の人を

警察では、九月一日から一カ月間、家出人やゆくえ不明の人を捜す運動を行います。この期間中は県警察本部警鑑課で家出人などの相談に応じています。(午前九時から、平日は午後四時まで、土曜日は正午まで)

なお、栃木警察署の相談日は九月二十一日(木)午前九時～午後四時まで

町では、9月1日現在で住民基本台帳の実態調査を行います。

9月1日から15日までの間に、調査員（役場職員）が各家庭にお伺いしますから、ご協力ください。

この調査は、住民のみなさんの日常生活の利便を増進することはもとより、役場のあらゆる事務を行う基本となる公簿である住民基本台帳を整備するために行うものです。

○転入・転出・転居などの異動がありましたら、その日から14日以内に役場住民課または支所へ届出てください。

○お詫び 7月28日付で、全世帯に配布しました「窓口届出のお知らせ」中、出生届の届出期間が7日以内とありますが、正しくは14日以内ですので、ご訂正ください。

住民実態調査

町自治会連合会
の総会が七月二十

三日中央公民館で開かれ、規約や事業計画、予算などを決め、役員を選出しました。

今までは、形だけの連合会組織で規約や事業計画がなかったものを、こんど町内七十一自治会長さんが、意志の疎通と親睦をはかり、連帯感あふれた住みよい環境づくりと住民立てようと正式に

火曜日に心配ごと相談所を
しています。九月の日程は、次
おりです。相談料は無料で、
は固く守ります。

気軽にご相談ください。

月六日(金高相談日)	役場 日本間
月十三日	稲葉公民館
月二十日	役場 日本間
月二十七日	南犬飼公民館

問は、午前十時から三時まで

がんばる少年剣士

毎日三十度をこす暑さのなか、第七回になります。

壬生剣道連合会の少年剣士たちは、土用特別大会に参加し、元氣なところをこせませしめた。

七月十二日から、次代に担う少年たちの精進は、週一回行われ、わがちがスポーツを通じりつぽな社会人としての資質を鍛練するため毎年行われているので、今年には

最大の二十日は、米の佐藤町民、大川教長は、来ぬ多数の父兄が見守るなかを、師範工上教士指導で納合の式が行われ、以下の部グループ六、六年生、五年生の部、ブルエースに同じく環境成長を競い、わが子よりつば成長を問の間に兄父兄は、感激し、はげまされ

剣道少年など

除草奉仕

壬生剣道教室の少年剣士三十名が、八月十日朝早くから東雲児童公園北側と隣接した慰霊碑のまわりの草とり作業を奉仕しました。

また、この日は壬生地区遺族会婦人部の会員も除草作業に汗を流し、すっかりきれいになりました。

善
意
銀
行

次の方々から、善意銀行へ預託がありました。あたたかい善意にお礼を申し上げます。

○金二〇、〇〇〇円
壬生町安塚 石川 満璋殿
○金一、五〇〇円
宇短大附属高校南大飼学友会殿
○金二八、三〇〇円
昭和三十一年度壬申卒同窓会殿



土用稽古のもよう

鳥居家中興譜について

その十五

これからは、島居（島居の紋）を旗紋として、この手紙を伝えるべきと云った。これから土庫らは、島居の紋を用いるの事になった。

家康が松山城に上った時、御本丸（城の中心部）から、西西南にあるある城、一部に元忠といふ所、城の東に忠孝にそに任じていた。家康の家来たる、この所を彦右衛門曲輪と有けた。今でも、その呼び方は変ない。

天正元年（一五七三年）五月十一日、家康は、三河國長松原に赴き、武田勝頼と会談の後、そ子勝頼は父の志を継いで、京にのけりて、又、河へかの道にあめりて、遠江より河へかけて、家康の陣を討つて、さへばつたが、遂に二万五千人の大軍を率て、長後城（二つの谷間に正門あり）に攻め入り長後城を圍んだ。長後城は、二つの谷間に正門あり、城その城の谷間に、正門あり、攻めにむかひて守るに、軍で、これだけ、武田家、一軍で、これだけ、武田家、何回取った、

くすり箱

その六

貧血

貧血という言葉をよく耳にしますが、この言葉位本来の意味と違つて、広い範囲に安易に用ひられてゐるものも他にはあまり多くはないと思ふます。

例えば、顔色が悪く、実際に血液の濃さが薄くてふらふらするは勿論のこと、さらに別の原因立ちくらくみとか頭が重かったり、脳貧血を起す場合とか、更に低圧で具合の悪い人まで、似たような症状を示すので、全部を一括ごちゃまぜにして、貧血という言葉が使われているように思われれば、あとの二つは必ずしも正確でない方ではありません。

實際上、私共医師が使っている貧血という本当の意味は、血液の成分のうちの赤血球が少いか、またはこの中のヘモグロビンといふ鉄と蛋白の化合物の濃さが低いことを指しています。そして、人間の活動に必須の酸素はこのヘモグロビンと結合して、身体中をまわ

るのて、それが不足すると脳、肝臓、筋肉など重要な場所での酸素欠乏が起り、機能が落ちて、めまい、耳鳴り、頭がぼんやりする、だるい、などの自覚症状が出現してくることになります。

取られた状況であつた。時、長篠城を守つてゐたのは、志摩康の娘松姫と婿、奥九八郎貞昌とで、松姫は、松平の軍であつたから松平三郎郎重の軍後とされておつた。松平三郎郎重の軍は、兵が五百五十人と合せもわずかに、兵百五十人の少数の兵で、武田の大軍を迎撃する少しも力になつてゐなかつた。しかし、そのうち城には、食、物がなくなつて来たらあつた三日分らしいとなつた。知つておつた松平三郎郎重の軍を呼び、城抜け出す用意に急ぎ、殺ひの兵を出して、もうさうして、重な敵の命をた。強右衛門は、些このことを頼み、家康を助けて来て、いた松平三郎郎重の軍に、さうして、武田方に引き返したが、途中で武田方に見つかつた。捕はれた。武田方には、強右衛門に「助けねえ、来なからうに」に降参せよ。と、城兵に告げてと命じたが、強右衛門は城兵に「助けなけり。軍は来なからうに」を叫んで城を奪ひ、と大声で、喜んで、武田方は、城が城の見ていて、強右衛門を注縛り付け、槍を殺してしまつた。こうして、田方と能山・織田連合軍二万の力が衝突、大激戦であるが、松平三郎郎重の軍は、兵は、今までより多くの部が、兵と共に、と敵陣へ突撃する軍が、の戦法を取つてゐた。

【筆者】 監田

「筆者 監田」

その上、少いヘモグロビンで酸素を効率よく体内に送るために、心臓が余分な活動を強いられ、心悸として感ずるわけです。

ですが、第一には、体内で血を造る骨の中の成分「骨髄」と呼ばれますが、①この機能低下、②血をくる材料：鉄分、ビタミン、蛋の不足、③血液がこれ易くななどがあげられます。

これは薬剤と適切な食事ですかたんに治りますが、注意が必要です。第二には、胃潰瘍、痔、宮筋腫などからの出血や癌、慢感染、慢性的腎臓、肝臓の病気

原因がある場合です。これらはほ
度が非常に高く、また顔色が悪
元気がないだけでなく、こんな
恐ろしい病気がかくれているの
放置しておくわけにはいきませ
年配の人で鏡をみて、おやと思
たら、あるいは人から指摘され
ら、早く受診し原因を確かめて、

正しい治療を受けることをおすすめします。明るい顔色は健康のシンボルです。

独協医科大学第三内科
教授 犬戸 英雄

9月1日から9月30日までは心身障害者雇用促進月間です

